

たま校通信 No,12

石川支援学校たまかわ校

令和7年3月3日(月)



令和6年度の学校評価のまとめをお知らせします。

アンケートのご協力ありがとうございました。いただいたご意見を今後の教育活動に生かすことができるように努めていきます。

学校経営・運営ビジョン

経営方針 「社会に踏み出すための力を育む」

【学校教育目標】 児童生徒一人一人の障がいの状態及び特性等に応じ、自立し社会参加ができる人間を育成する。

柱1 学びの変革を推進し、進んで学ぶ子を育成する	柱2 人権を尊重し、心豊かに協働して学ぶ子を育成する	柱3 地域と連携し、社会に貢献できる人材を育成する
1 授業の充実に努めます。 2 ICT(情報活用能力)の積極的な活用を推進します。 3 教師の専門性の向上に努めます。	1 一人一人の人権を尊重し、心身ともに健康で豊かな学校生活を送るための教育を推進します。 2 安全で安心な教育環境の形成に努めます。 3 健全な社会生活に向け、他と協働する力を養います。	1 地域と連携し、連続性のある多様な学びの場の充実に努めます。 2 子ども達と教職員のwell-beingを発信します。 3 自立と社会参加に向けた教育の充実に努めます。

1 アンケートの回答状況

評価者	対象者数	回答数	割合	
教職員	36	36	100.0%	
保護者	小学部保護者	36(兄弟世帯2)	36	100.0%
	中学部保護者	20	20	100.0%
中学部生徒	10	10	100.0%	

2 アンケートの結果

保護者、教職員アンケート結果では、全体的に高い評価を得ている項目が多く、A、B評価を合わせた割合は、保護者・教職員アンケートともにすべての項目で90%以上を占めていました。これらのアンケート結果から、保護者、教職員ともに今年度の学校経営・運営ビジョンで掲げた、3つの柱における重点事項に対する取り組みを高く評価していることが伺えます。

一方、高い評価を得た項目にC、D、E評価が含まれているものも見られました。今年度の取り組みに対する意見として受け止め、より一人一人の児童生徒に応じたかわりができるよう一層努め、保護者の皆様の不安な気持ちに常に寄り添うことを教職員で確認していく必要があると感じています。

以上の結果から、全体としての目標は達成されたのではないかと考えています。

保護者アンケート結果						
アンケート項目	評価基準	A	B	C	D	E
①教育目標、教育・経営方針の説明		43	13	0	0	0
②学校へ楽しく通っている		40	14	0	1	1
③目標や指導内容を明確にした指導		41	14	0	0	1
④研修を積み、子どもたちを尊重した関わり		46	9	0	0	1
⑤学校行事の時期、内容		45	11	0	0	0
⑥健康状況の把握、適切な健康管理と保健指導		50	6	0	0	0
⑦安全への配慮や防災意識の育成		50	6	0	0	0
⑧実態把握、一人一人に応じた指導		47	9	0	0	0
⑨保護者との共通理解、意見の反映		49	6	0	0	1
⑩適切な進路指導、進路情報の提供		42	12	1	0	1
⑪家庭、関係機関、地域との連携		42	14	0	0	0
⑫地域等との連携、交流活動、体験活動の取組		46	10	0	0	0
⑬広報誌、ホームページ等での発信		47	9	0	0	0
⑭授業参観や個別懇談等の回数や時期		43	12	1	0	0

<注: 評価基準> A(そう思う)、B(おおむねそう思う)、C(あまりそう思わない)、D(そう思わない)、E(分からない)

「最も良い」の評価：A評価が75%超で、C・D・E評価が0%の項目。		
保護者	「教育目標、教育・経営方針の説明」 「健康管理と保健指導」 「実態把握、一人一人に応じた指導」 「交流活動や体験活動」 「授業参観や個別懇談、PTA活動の時期等」	「学校行事の時期、内容」 「安全に対する配慮、防災意識の育成」 「家庭、関係機関、地域との連携」 「広報誌、ホームページでの発信」
教職員	なし	

「概ね良い」の評価：A・B評価が75%超だが、C・D・E評価があった項目。		
保護者	「学校へ楽しく通っている」 「研修を積み、子どもたちを尊重した関わり」 「進路相談、進路に関する情報提供」	「目標や指導内容を明確にした指導」 「保護者との共通理解、意見の反映」
教職員	「一人一人の資質・能力の向上、協働的な学び」 「授業へのICT機器の活用」 「歯科指導や肥満指導、食育」 「危機管理に必要な研修」 「PTA活動」 「ニーズを踏まえた相談・研修支援」 「教育活動の発信」 「授業参観や個別懇談、PTA活動の時期等」	「日々の授業実践、教育課程への反映」 「ルールやマナーを意識した指導」 「防災に対する意識の育成」 「人と関わるための力の育成」 「一人一人のニーズに対応した進路指導」 「交流活動や体験活動」 「教育目標、経営目標の説明」

【自由記述から】

- 保護者からの自由記述には、学校の対応に対する感謝や期待が多く見受けられました。少数ではありますが、より障がい特性に配慮した対応や、より個に応じた支援等の要望、よりよい連絡方法等の意見がありました。教職員にとって大いに励みになるとともに、保護者の思いを受け止め、より丁寧に配慮して対応し、児童生徒が安心・安全に学習活動に取り組むことができるよう学校づくりに努めていきたいと気持ちを新たにしました。
- 教職員からは、C評価の項目に対する課題が挙げられました。個別の指導計画（自立活動）を活用したさらなる指導内容や手立ての工夫、実態に応じた情報モラル教育の必要性など、いずれも「学びの変革」の推進に向けて取り組んでいきたいという気持ちの表れと言えます。全教職員で課題を共有して改善策を検討し、実践につなげていきたいと思えます。

3 生徒アンケートの結果

<評価項目>

- ①学校は楽しい。
 - ②わかりやすく勉強を教えてくれる。
 - ③先生は、よく話を聞いてくれる。
 - ④仲の良い友達がいる。
- <注：評価基準> A(そう思う)、B(そう思わない)

- 中学部生徒10名に実施しました。どの項目も全員がA評価をつけていました。また自由記述において「がっこうがたのしい。」と回答した生徒もおり、悩みを抱えているような生徒はいませんでした。目標をもって学校生活や学習に取り組み、友達同士のやり取りを通して人と関わる力を学び、生き生きと学校生活を送っているように感じました。今後も一人一人の言動をしっかりと受け止め、適切な支援ができるように、全職員が連携して対応していきます。

4 学校評価のまとめ

今年度保護者アンケートでは、14項目のうち9項目も「最も良い」の評価（A評価が75%超で、C・D・E評価が0%の項目）をいただきました。昨年度の学校評価のまとめを受け各部・各学部・委員会等でそれぞれ改善策を実行し、よりよい学校づくりに真摯に取り組んできた姿勢を保護者に評価していただいた結果であると考えます。

今年度いただいたアンケート結果を分析し得られた成果や課題は、次年度に向けた改善策として引き継ぎ、児童生徒一人一人の「社会に踏み出すための力」を目指した学校経営・運営ビジョンを達成することができるように、今後も各部・各学部を中心に全教職員で検討を重ねていきたいと思えます。また保護者や関係機関との連携を図りながら実践を進めていくことができるように努めたいと思えます。